

# 香川県感染症週報

2022年21号(3/Jun/2022 発行)

Infectious Disease Weekly Report Kagawa

Reported by Infectious Disease Information Center Kagawa

## ◆ 2022年 第21週(5/23~5/29)の感染症発生動向(届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核(高松1件、中讃1件、西讃1件)
- 3類感染症 なし
- 4類感染症 なし
- 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌感染症(中讃2件)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(中讃1件) 梅毒(高松1件)

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症  
(高松739件、小豆16件、東讃71件、中讃552件、西讃202件)

修正 第18週 2類感染症2→3(結核 中讃1→2)

### ■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告が続いています。調理や食事の前、トイレの後には、こまめに手洗いをしましょう。食品は十分に加熱し、調理器具は清潔に保ちましょう。

### 香川県新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止対策期

- ◎手洗い・手指消毒、咳エチケット、こまめな換気等の感染症対策を徹底しましょう。
- ◎「大人数・長時間の飲食」、「マスクなしでの会話」等、感染リスクの高い行動は避けましょう。飲食店等は、感染対策の徹底されている店を少人数で利用しましょう。
- ◎混雑する場所への外出は控えましょう。



2022年第21週の感染症発生動向調査による報告患者総数は201人で、前週(217人)の92.6%となった。

- 1. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(6.1→5.5)で減少している。
- 2. 突発性発しんの報告は、県全体(0.5→0.6)で増加している。
- 3. 咽頭結膜熱の報告は、県全体(0.2→0.4)で増加している。
- 4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(0.4→0.4)で横ばいで推移している。
- 5. 感染性胃腸炎(細菌)の報告は、県全体(0.3→0.2)で減少している。

## 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	5.5人	6.1人	89.5%	4.0人	8.5人	○↘	○↘	○↘	○↑	○↘	○↘
② 突発性発しん	0.6人	0.5人	113.3%	0.5人	0.7人	△↗	△→	・	△↗	△→	○↗
③ 咽頭結膜熱	0.4人	0.2人	200.0%	0.1人	0.6人	△↗	△↗	・	・	・	○↗
④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.4人	0.4人	100.0%	0.2人	1.8人	△→	△↗	・	・	△↗	○↘
⑤ 感染性胃腸炎(細菌)	0.2人	0.3人	62.5%	0.2人	0.3人	△↘	△→	・	△↘	△↘	・↘

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し

前週との比較: ↑急増 ↗増加 ↘減少 ↓急減 →横ばい ・報告無し

## ◆病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
なし						

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
なし						

## カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症 耐性遺伝子検出情報

菌種名	検体	検体採取日	地区	臨床診断(症状)	耐性遺伝子	備考
なし						

